

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 宮寺庸造 副委員長 中村勝一

幹事 東本崇仁・森本容介 幹事補佐 中山祐貴・倉山めぐみ

◎本研究会は参加費が必要になりますので、下記を御参照下さい。

https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/About_ISS_trial.html

日時 3月3日(土) 10:00~16:35

会場 高知工科大学永国寺キャンパス(高知市永国寺町2-22. 高知龍馬空港から永国寺キャンパスまで車/タクシーで約40分. 空港連絡バスで約50分. はりまや橋/JR高知駅下車, 車/タクシーで約5分, または徒歩約15分.

<https://www.kochi-tech.ac.jp/about/facility/eikokuji.html> TEL [088] 821-7200 妻鳥貴彦)

議題 電子教科書・e-Learningの標準化と利活用/一般

午前 A1 (10:10~11:30) (A会場)

1. 階層型読解モデルに基づいた論文読解支援システム ○西村弘太・小尻智子(関西大)
2. メロディー音抽出によるギター演奏支援システム ○伊藤 遼・小尻智子(関西大)
3. 身体スキル獲得におけるピア・アセスメントを取り入れたPDCAサイクル支援システムの構築
○詫間風人・小尻智子(関西大)
4. リハーサル差分データの提示にもとづくバックレビュー支援システムの開発と評価
○小池柁伎・岡本 竜(高知大)・柏原昭博(電通大)

午後 A2 (12:30~14:10)

5. ゼミの実態調査を通じたゼミ形態の分類の検討
○保坂明子(早大)・木下 涼(電通大)・谷田貝雅典(共立女子大)・米谷雄介(香川大)・永岡慶三(早大)
6. ゼミ形態による共同体意識形成要因の比較検討
○森下瑞季(早大)・米谷雄介(香川大)・谷田貝雅典(共立女子大)・木下 涼(電通大)・永岡慶三(早大)
7. 大学研究室における研究活動の多様性を考慮した管理支援システムの開発
○大浦拓馬・佐藤克己・森本康彦(学芸大)・中山祐貴(早大)・中村勝一(福島大)・宮寺庸造(学芸大)
8. kintoneによる卒業研究指導システム運用と成果達成のコンピテンシー
○山田耕嗣・青沼亮太・大嶋智子・高橋 徹(阪産大)
9. 自己調整活動を促進する研究活動支援システムにおける活動状況把握支援機能の改善
○廣村植太郎(信州大)・國宗永佳(千葉工大)・新村正明(信州大)

A3 (14:25~16:35)

10. 階層性を考慮したトピックモデルに基づく潜在ニーズ可視化エージェントの開発とその評価
○米谷雄介(香川大)・佐藤 敬(北九州市大)
11. ウェアラブルカメラ及び360°カメラを用いた野球走塁における状況判断指導の提案
○佐々木遼太(早大)・谷田貝雅典(共立女子大)・米谷雄介(香川大)・木下 涼(電通大)・永岡慶三(早大)
12. 個別フィードバックを有するオンデマンド教材を用いたソフトボール・スローイング指導の可能性の検討
○半澤春奈(早大)・谷田貝雅典(共立女子大)・木下 涼(電通大)・米谷雄介(香川大)・永岡慶三(早大)
13. スポーツ初学者に対し熟達者の動きの認識を目標に撮影動画及びセンサを活用した訓練環境
○中原 輝・蓮井宏輔・石岡匠也・後藤田 中(香川大)・國枝孝之(リコー)・松浦健二・カルンガル ステファン(徳島大)・米谷雄介・林 敏浩・八重樫理人(香川大)
14. スポーツオノマトペの直感的な意図を表現するコミックフォントを用いた運動学習支援システム
○蓮井宏輔・中原 輝・後藤田 中(香川大)・國枝孝之(リコー)・松浦健二・カルンガル ステファン(徳島大)・米谷雄介・林 敏浩・八重樫理人(香川大)
15. インシデント対応におけるリスクアセスメント過程認識のための可視化・伝達を支援するシステムの開発と評価
○山崎勇二・後藤田 中・米谷雄介・林 敏浩・八重樫理人・最所圭三(香川大)

午前 B1 (10:10~11:30) (B会場)

16. E-learning教材に汎用的に組み込める学習技能指導モジュールの設計
○井出未来・松田稔樹(東工大)・小杉直美(北翔大)
17. 教科等を横断して汎用的資質・能力を育成するための模擬授業ゲーム 松田稔樹(東工大)
18. AIと共存する力を養成する教育プログラムの提案 高野敦子(兵庫大)
19. 教育・学習分野の先進的研究課題一次に繋がる研究の視座を求めて― 渡邊豊英(名古屋産業科学研)

午後 B2 (12:30~14:10)

20. 多地点遠隔講義環境におけるつぶやき共有手法に関する提案 ○原 智英・長谷川 忍(北陸先端大)
21. 情報技術演習における演習状況可視化手法の提案

○横山貴志（信州大）・國宗永佳（千葉工大）・新村正明（信州大）
22. 情報システムの設計・特性・社会的影響の相互関係を理解させるゲーミング教材の開発

○金井文哉・松田稔樹（東工大）

23. セキュリティ対策を通じて多様な良さの実現とトレードオフ解消を考えさせるゲーム教材の開発

○坂 直樹・松田稔樹（東工大）・近藤千香（東工大付属科学技術高）

24. ネットワーク構築演習の作成と改良—構造調査とアンケートによる評価—

○松永統真・白石啓一・高城秀之・糸川一也・村上幸一（香川高専）

B3（14：25～16：35）

25. アルゴリズムの動的提示を使ったコーディング演習 ○大城正典・永井保夫（東京情報大）

26. オブジェクト指向における段階的な開発とテスト駆動を誘導する初級 Java 演習の支援システム—整列算法を題材とする試行実践のユーザ評価— ○辻 健人・富永浩之（香川大）

27. LEGO Mindstorms マイコンの走行体を用いた制御系の Java プログラミングの演習支援—総合課題における UML モデリング設計と模範コード及び採点指針— ○劉 世博・辻 健人・中矢 誠・富永浩之（香川大）

28. プログラミング作問学習の例題・問題間の状況差異推定機能における抽出品詞の検討

○牧野拓也（信州大）・國宗永佳（千葉工大）・新村正明（信州大）

29. ソフトウェアメトリクスを用いた高可読性コーディング能力の定量的評価 ○中村優太・上野秀剛（奈良高専）

30. ハッカソンを用いたプログラミング初心者と経験者の協調学習方式の提案

○吉井秀平（早大）・米谷雄介（香川大）・谷田貝雅典（共立女子大）・木下 涼（電通大）・永岡慶三（早大）

午前 C1（10：10～11：30）（C 会場）

31. 拡張・絞込み方針の意識促進を考慮したローカル領域と Web 空間を跨いだページ間関係視覚化システム

○荒川大祐（福島大）・中山裕貴（早大）・大沼 亮・神長裕明（福島大）・宮寺庸造（学芸大）・中村勝一（福島大）

32. 探索方針の考察促進のための閲覧履歴のネットワーク分析に基づいた未知ページの性質示唆

○天野 崇・大沼 亮（福島大）・中山裕貴（早大）・神長裕明（福島大）・宮寺庸造（学芸大）・中村勝一（福島大）

33. 学習者の動作及びページ移動履歴の分析（第2報）

○渡邊栄治（甲南大）・尾関孝史（福山大）・小濱 剛（近畿大）

34. Web 教材コンテンツの品質管理のための学習ログ収集の機能強化と学習者の特徴分析

池田瑞穂（関西学院大）

午後 C2（12：30～14：10）

35. 感性洗練のための嗜好整理と嗜好発見支援システム—写真を対象として— ○上坂誠信・小尻智子（関西大）

36. グループ分け反転授業の実授業への適用

○梅澤克之・小林 学（湘南工大）・石田 崇（高崎経済大）・中澤 真（会津大短大部）・平澤茂一（早大）

37. 高等学校商業科目の能動的学習を図る効果的なコンテンツと指導方法

○森 友寿（鹿島台商業）・秋月 治（宮城大）

38. 学寮における外泊欠食申請システムの汎用化に関する研究 片岡莉菜・○福田尚也・松島由紀子（津山高専）

39. 3DCG 映像を活用した介助技術の習得支援 Web 教材の開発

○江藤 香・高瀬浩史・松田 洋（日本工大）・山崎敦子（芝浦工大）・吉田廣子（板橋ロイヤル訪問看護ステーション）・伊藤きよみ（東本町訪問看護ステーション）・荻原美智恵（自由が丘訪問看護ステーション）・佐伯喜久子（板橋中央看護専門学校）・清水暁彦（板橋中央病院）

C3（14：25～16：35）

40. ソーシャル・ネットワーキング・サービスのデジタルノートとしての利用についての調査・分析
飯高敏和（熊本学園大）

41. Moodle の利用状況把握を目的としたログ解析プラグイン AliroStats の開発

○小林康太・森川 一（旭川高専）

42. スマホによる同期が可能な HMD 式 VR を用いた e ラーニング教材の試作

○中村修也・赤倉貴子（東京理科大）

43. e-Testing における少数登録情報を用いた受験者認証法の検討 ○川又泰介・赤倉貴子（東京理科大）

44. IRT を用いた特異項目機能分析によるライティング・ループリックの評価

石川勝彦（山梨学院大）・○野津昭文（大分県立看護科学大）

45. ラーニングレコードを用いた学習者の習熟度時間変化モデルの構築 ○児玉 翠・秦 崇洋・社家一平（NTT）

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

【問合先】

東本崇仁（東京工芸大）

E-mail：t.tomoto@cs.t-kougei.ac.jp

- ◎研究会発表の第1著者は、1研究会あたり1件までです。
- ◎原稿締め切り日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は原則認めていませんので御注意下さい。
- ◎原稿は、4または6ページでお願い致します。5ページは極力お避け下さい。3ページ未満、7ページ以上は認められません。
- ◎本研究会の取り組みなど、詳細はET研究会 Web ページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/iss/et/>